

登録コード	SG102105	開講年度	2026				
授業題目	新入生ゼミナール					担当教員	常盤 哲也
英文授業名	Fresher's Seminar					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学年	1年
講義室	理学部第12講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	26Sカリ, 25Sカリ, 24Sカリ, 23Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】幅広い教養および理学の基礎知識				⇔	地球学の基礎知識・技術を身に付けることにより, 地球学の基礎を総合的に理解できるようになる.	
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識				⇔	地球学を学ぶ上で必要な基礎的知識を身に付けることができる.	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	地球学を学習する上で最低限必要な基礎知識の習得とともに, 野外調査や自然観察に必要な基礎知識・技術・安全確保について解説を行なった上で, 地質学入門実習での実体験を通してそれらの体得を行う. さらにレポートや論文の書き方, データの表示法についての解説や演習を行った上で, 岩石や鉱物などの地球を構成する主要な単元の成り立ちについて, 各自で分担する課題として学習し, 授業中に発表および質疑応答を行うことを通して, 学術的情報を応用した成果の取りまとめ方法について習得する.						
(5)授業のキーワード	地球の構成, 岩石の分類, 主要造岩鉱物, 野外調査, 信州の地質, 安全確保						
(6)授業計画	1.ガイダンス. 野外調査における必要装備と安全確保 2.地球の構成と内部構造(基礎知識) 3.地殻を構成する岩石と鉱物(基礎知識) 4.地形図と航空写真の読み方(基礎知識) 5.地震(基礎知識) 6.活断層(基礎知識) 7.鍵層の役割と広域テフラによる対比(基礎知識) 8.主要造岩鉱物の特徴と結晶構造(1)(基礎知識) 9.主要造岩鉱物の特徴と結晶構造(2)(基礎知識) 10.各種データの整理法と表示法(データの収集・整理法) 11.二成分系図の読み方と表示法(データの収集・整理法) 12.三成分系図の読み方と表示法(データの収集・整理法) 13.レポートと論文の構成・書き方(成果の取りまとめ方法) 14.発表の構成・方法(成果の取りまとめ方法) 15.課題発表会・授業アンケート						
(7)成績評価の方法	岩石や鉱物などの地球学を学ぶ上で必要な基礎的専門知識に関する小テスト・レポート:70点 設定課題について学術的情報を応用した発表:30点						
(8)成績評価の基準	小テストについては地球学に関する基礎的専門知識の理解度に応じて評価する. レポートおよび発表については, 理解度および記述の正確性に応じて評価する. また, 発表においては, 質疑に対する応答の適格性に応じて評価を行う. 理解度・正確性・適格性が極めて優れていればS(100~90点), 優れていればA(89~80点), 十分身に付けていればB(79~70点), 身に付けていればC(69~60点), 身に付けていなければD(60点未満)とする.						
(9)事前事後学習の内容	受講生ごとに発表課題を与えるので, その課題について学習する. ※この授業は90時間の学修を必要とする内容です.従って, 60時間以上の時間外学習が必要となります.						
(10)履修上の注意	本講義は地質学入門実習(水4)と密接不可分の関係にあるので, 併せて履修のこと. また発表会では, 基礎的な専門知識と信州の自然環境や地質学入門実習での地質見学に関連した課題を各人に与える予定. 学生研究災害傷害保険に必ず加入のこと.						
(11)質問,相談への対応	随時, 担当教員の部屋(理学部C棟410号室)にて行う.						
【教科書】	指定しない.						
【参考書】	指定しない.						